



# 富井大裕

## 抽象的なまなざし



©Motohiro Tomii, Courtesy of Yumiko Chiba Associates

2026年4月14日(火) - 6月6日(土)

\*4月18日(土)17:00-19:00にオープニングレセプションを行います。

Yumiko Chiba Associates

東京都港区六本木 6-4-1 六本木ヒルズ ハリウッドビューティープラザ 3F  
営業時間: 12:00-19:00 定休日: 日、月、祝日、GW [5月2日(土) - 5月6日(水)]

このたび、Yumiko Chiba Associates では、富井大裕の個展を開催します。富井は、複数の同一の物品を組み合わせた立体などで「彫刻」のあらたな可能性を模索する活動を行ってきた美術家です。

2023年には、二つの美術館個展「今日の彫刻 富井大裕展——トルソ、或いはチャーハン——」（栃木県立美術館）、「富井大裕 | みるための時間」（新潟市美術館）を開催するなど、その活動は高い評価を受けています。

富井は、主に既製品に最小限の手を加えることで、それらを固定された意味から解放し、色や形をもつ「造形」としての彫刻を制作してきたことで知られます。それは「つくる」ことを解体し、再構築するような作業であったと言えます。

本展では、人間の頭部を表した首像と絵画的なレリーフ作品という、作家にとって新たな展開となる作品群を発表します。富井の作品のなかでは例外的に具象的なイメージをもつ首像と、絵画的な紙のレリーフを通して、富井は「つくる」ことから、改めて自身の美術経験の原点である「みる」ことに立ち返り、これらの作品を制作したといえます。

「つくる」ことと「みる」ことが交差する地平から生まれた、富井の新たな作品群を、ぜひご高覧ください。



## ステイトメント

「みる」という行為に拘って制作を続けている。制作をする以上、最後はつくることになるわけだが、「みることがつくること」であると言いつても構わない。この態度が一体どの時点、どういった経験からはじまったのかといえば、ひとつは幼少期から思春期に郷里で海を眺め続けたこと、もうひとつは美大の彫刻学科における塑像制作、この二つの経験ではないかと思う。

海をみるといっても、一体海の何をみているのかは不明だ。塑像制作も同じで、モデルをいわゆる具象彫刻に仕立てると言えばシンプルに聞こえるが、お手本に倣うというわけでもない。くねくねと動き続ける粘土を間に置き、自身の目が揺らぎ、ブレ続けることに途方に暮れる。そう、海も塑像（モデル）も途方に暮れるのだ。それはみたい、みようと思い、欲するものは確かにありながら、その姿に焦点が合わないからだといまは思う。それでも、だからこそ人は何かをみてしまうのだし、そんな人間に私は興味と希望をもって制作を続けている。

「みることをみる」と言い聞かせ、誰かがつくった「何か」から揺れやブレを認め、それをかたちにしてきた。昨年、このことを続けつつ、唐突に首像（くびぞう）をつくろうと思いつく。人体ではなく頭部、肖像。「みる」という経験の原点を、これまでの仕事と同じ地平に並べてみたい。頭、顔、自分、他人——私たちが最もみているもののひとつだ。それをはじめてみるものとして現すことを試みる。彫刻である前に未確認物体であるといい（そもそも、彫刻はそうあるべきだ）。

本展では、首像を「空間に作用する、方向性を保持した何か」として配置する。そこに、近年こっそり続けてきたレリーフを挿入する。「頭部のある部屋」と題したレリーフは、絵の描けない私が「つくる」絵画である。結局それは絵画ではなく、薄い空間を「みる」ためのアプローチとなった。

結局は「みる」ことなのだ。それは人にとっては「きく」や「かぐ」、もっといえば「きづく」ことかもしれないが、私にとってはいままでのところ「みる」ことであって、そのことによって世界と接することができている。作品は、そのことが本当に必要であるかを問い、その問いごとと保持していくために必要な装置のようなものだと思う。

2026年2月  
富井大裕

※会期中、トークイベントを実施予定。申し込み詳細等は改めてホームページ、X等でご案内いたします。

## ■アーティストプロフィール■

### 富井大裕 (1973-)

1973 新潟生まれ  
1999 武蔵野美術大学大学院造形研究科彫刻コース修了  
2015-2016 文化庁新進芸術家海外研修制度派遣研修員としてニューヨーク（アメリカ）に滞在  
2024 DSF CULTIVATION AWARD

埼玉県在住

### [主な個展]

2025 「SHOW-CASE PROJECT Extra-2 富井大裕 接点の都合」慶應義塾大学アート・センター(東京)  
2024-25 「SHOW-CASE PROJECT Extra-1 『富井大裕 モノコトの姿』」慶應義塾大学アート・センター(東京)  
2023 「今日の彫刻 - 富井大裕展 Motohiro Tomii: Sculptures -トルソ、或いはチャーハン-」栃木県立美術館（栃木）  
「富井大裕・堀内正和 二人展 『拗らせるかたち』」Yumiko Chiba Associates（東京）  
「富井大裕 みるための時間」新潟市美術館（新潟）  
2021 「線を重ねる」Yumiko Chiba Associates viewing room Shinjuku（東京）  
「企画展＝収蔵展（アップデート版）」アーカスタジオ（茨城）  
2020 「メロー」KAIKA東京 by THE SHARE HOTELS（東京）  
「斜めの彫刻」Yumiko Chiba Associates viewing room Shinjuku（東京）  
「紙屑と空間」Art Center Ongoing（東京）  
「一寸」照恩寺（東京）  
「動き」switch point（東京）  
2019 「彫刻になるか？ - ノート、箒、BAR」awai art center、マツモトアートセンターGALLERY、kulwa（長野）  
「素描、彫刻」HIGURE17-15cas（東京）  
「泊まる彫刻」RCHOTEL京都八坂（京都）  
2018 「線を借りる」void+（東京）  
「コンポジション - モノが持つルール - 」ATELIER MUJI（東京）  
「関係する/Interact」(PLACE)by method（東京）



- 2017 「turn」 Art Center Ongoing (東京)  
「スケッチ」代田橋 納戸、gallery DEN5 (東京)  
「像を結ぶ」Yumiko Chiba Associates viewing room Shinjuku (東京)
- 2015 「粘土の為のコンポジション」 Yumiko Chiba Associates viewing room Shinjuku (東京)
- 2014 「SHOW-CASE project No.1:3個の消しゴム」慶應義塾大学アートセンター (東京)  
「デイリーコンポジション」アートセンター・オンゴーイング(東京)  
「繊維街 日本橋」NICA(東京)  
「SHOW-CASE project No.0 : Blind Composition」慶應義塾大学アート・センター(東京)
- 2013 「直線と周囲」switch point (東京)  
「繊維街」N-MARK B1ギャラリー (名古屋、愛知)  
「combine」-still- Yumiko Chiba Associates viewing room Shinjuku (東京)
- 2012 「Kart Invitation Program Vol.3 つくることの理由」Gallery Kart (東京)  
「衣服」switch point (東京)  
「4つの仕事」Art Center Ongoing (東京)
- 2011 「taking bump」switch point (東京)  
「5×14」NADiff Window Gallery (東京)  
「色と形を並べる」ラディウムーレントゲンヴェルケ (東京)
- 2010 「鉛筆のテーブル」switch point (東京)  
「つくるために必要なこと」金沢美術工芸大学アートギャラリー (石川)  
「ball pipe ball」玉川大学 Tamagawa Art Gallery Projects (東京)  
「STACK」NADiff a/p/a/r/t 店内 (東京)  
「作品展」NADiff a/p/a/r/t 店内(東京)  
「catch as catch can」現代HEIGHTS Gallery DEN (東京)
- 2009 「新作展」switch point (東京)  
「かみの仕事」Art Center Ongoing (東京)  
「copy boy」ギャラリー現 (東京)
- 2008 「みるための時間」switch point (東京)  
「身の回りのものによる色とかたち」遊戯室 (中崎透+遠藤水城) (茨城)  
「企画展=収蔵展」アーカス・スタジオ (茨城)
- 2007 「みるための時間」武蔵野美術大学美術資料図書館・民俗資料室ギャラリー (東京)  
「αMプロジェクト ON THE TRAIL vol.2」art space kimura ASK? (東京)  
「まると四角」switch point (東京)  
「世界のつくりかた」art & river bank (東京)
- 2006 「出会い直し」switch point (東京)  
ギャラリー現 (東京)
- 2005 「仮眠的」中崎透遊戯室 (東京)  
「空白の作り方」U8 Projects (愛知)  
CAS (大阪)  
「いつものこと」switch point (東京)
- 2004 「荷物 baggage」switch point (東京)  
「シリーズ展『THE COVER』」ZaGallery有明 (東京)
- 2003 「世界の真上で」art & river bank (東京)
- 2002 「隣の夢」なるせ美術座 (東京)  
「周辺と周縁」モリスギャラリー (東京)  
「早送り、巻戻し、」ZaGallery有明 (東京)
- 2001 「ありさま」マキイマサルファインアーツ (東京)  
「ある」藍画廊(東京)
- 2000 「あけすけ」(第4回アート公募2000審査大賞展)モリスギャラリー (東京)  
「モノローグ」松明堂ギャラリー (東京)
- 1999 「煙の点」ギャラリー現 (東京)  
「見えない部屋」ガレリアラセン (東京)  
「ものかたち」なるせ美術座 (東京)
- 1998 「周辺のかたち」ギャラリー現 (東京)

**[主なグループ展]**

- 2026 「Micro Salon ミクロサロン」CADAN大手町 (東京)
- 2025-26 「所蔵作品展 MOMATコレクション」東京国立近代美術館 (東京)
- 2025 「近藤恵介・富井大裕『人かもしれない——なんとなくクラシカル』」LOKO GALLERY (東京)  
「開館30周年記念 MOTコレクション 9つのプロフィール 1935→2025」東京都現代美術館 (東京)  
「2025年度コレクション展1 Welcome to Takamatsu Art Museum!! - 2023、24年度新収蔵作品を中心に」高松市美術館(香川)  
「ART OF THE REALアート・オブ・ザ・リアル時代を超える美術-若冲からウォーホル、リヒターへ」鳥取県立美術館(鳥取)  
「LA『zaicopass』」NADiff a/p/a/r/t (東京)



- 2024 「しろい展」 The White (東京)  
「うつす」 BOOK AND SONS (東京)  
「TRIO パリ・東京・大阪 モダンアート・コレクション」 東京国立近代美術館 (東京)  
「SCREWDRIVER 1st shot —SCULPLAY—」 マツモトアートセンター (長野)  
「エフェメラ：印刷物と表現」 慶應義塾ミュージアム・コモンズ (東京)
- 2023 「開館1周年記念展デザインに恋したアート♡アートに嫉妬したデザイン」 大阪中之島美術館 (大阪)  
「MOMATコレクション」 東京国立近代美術館 (東京)  
「近藤恵介/冨井大裕 あっけなく明快な絵画と彫刻、続いているわからない絵画と彫刻」 LOKO GALLERY (東京)
- 2022 「AGAIN-ST ルーツ/ツール 彫刻の虚材と教材」 武蔵野美術大学 美術館・図書館 (東京)  
「六甲ミーツ・アート芸術散歩2022」 六甲山各地 (兵庫)
- 2021 「MOMATコレクション」 東京国立近代美術館 (東京)  
「constellation #02」 rin art association (群馬)  
「MOMATコレクション」 東京国立近代美術館 (東京)  
「シネマ展」 代田橋納戸、ギャラリーDEN5 (東京)
- 2020 「部屋と庭 隔たりの形式」 武蔵野美術大学 美術館 展示室1 (東京)  
「練馬区立美術館開館35周年記念 Re construction 再構築」 練馬区立美術館(東京)  
「都美セレクション グループ展2020『描かれたプール、日焼けあとがついた』」 東京都美術館 (東京)  
「Mのたね」 武蔵野美術大学市ヶ谷キャンパス1F 共創スタジオ/MUJcom (東京)
- 2019 「引込線/放射線 Absorption/Radiation」 第19北斗ビル (所沢、埼玉)  
「時間/彫刻 - 時をかけるかたち -」 東京藝術大学大学美術館 陳列館1、2階 (東京)
- 2018 「メルド彫刻の先の先」 Maki Fine Arts (東京)  
「Asian art Award 2018 supported by Warehouse TERRADA - ファイナリスト展」 TERRADA ART COMPLEX 4F (東京)  
「コレクションのスズメ2018」 カサヤの森現代美術館 (神奈川)
- 2017 「アッセンブリッジ・ナゴヤ2017『パノラマ庭園-タイムシークエンス-』」 名古屋湾〜築地口エリア一帯 (名古屋、愛知)  
「引込線2017」 旧所沢私立第2学校給食センター (埼玉)  
「新たな価値を与える行為展」 clinic (東京)  
「ペバクラ展」 See saw gallery (名古屋、愛知)  
「下品展」 Art Center Ongoing (東京)  
「AGAIN-ST第6回展覧会『平和の彫刻』」 NADiff A/P/A/R/T (東京)  
「現代美術実験展示『パースペクティブ(1)』」 インターメディアテク (東京)  
「バズリアル」 Tojinシェアハウス (佐賀)
- 2016 「KABEGIWA 第16回展『DM展(1)』」 hibit (名古屋、愛知)  
「つらなるかたち」 清津倉庫美術館 (新潟)  
「アートフェアキワマリ2016」 水戸のキワマリ社 (茨城)
- 2015-16 「平成27年度第3期MOTコレクション 第2部フランス・アリスと4つの部屋/アトリウム・プロジェクト」 東京都現代美術館 (東京)  
「アーティスト・ファイル2015 隣の部屋-日本と韓国の作家たち」 国立新美術館 (東京) / 韓国国立現代美術館 (果川館) (ソウル・韓国)
- 2015 「引込線2015」 旧所沢私立第2学校給食センター (埼玉)  
「カメラのみぞ知る」 Yumiko Chiba Associates viewing room Shinjuku (東京)  
「単位展-あれくらい それくらい どれくらい？」 21\_21 DESIGN SIGHT (東京)  
「エディション・ワークスPrints & Originals」 GALLERY SPEAK FOR (東京)  
「メルド彫刻の先へ [彫刻と記録] 前橋文化研究所 (群馬)
- 2014 「複々線」 現代HEIGHTS Gallery DEN (東京)  
「METAPLAY, PRAHA-TOKYO」 ギャラリークリティーク (プラハ、チェコ)  
「柳瀬荘アート・教育プロジェクト“アウェーゲーム-茶碗に勝てるのか-”」 柳瀬荘 (埼玉)  
「愉快」 現代HEIGHTS Gallery DEN (東京)  
「開館20周年記念 MOTコレクション特別企画 コンタクト」 東京現代美術館 (東京)  
「Drawing03 ーpreference」 渋谷画廊(東京)  
「道草」 現代HEIGHTS (東京)  
「AGAIN-ST第4回展「置物は彫刻か？」」 東北芸術工科大学 (山形)  
「開館20周年記念 MOTコレクション特別企画クロニクル1995-」 東京現代美術館 (東京)  
「竹尾ペーパーショウ2014『SUBTLE』」 TOLOT (東京)  
「白川昌生 ダダ、ダダ、ダ 地域に生きる想像☆の力」 アーツ前橋 (群馬)  
「ニイガタ・クリエーション 美術館は生きている」 新潟市美術館 (新潟)
- 2013 「ポップ&ウィーダ」 東京芸術大学 YUGA Gallery、立体工房 (東京)  
「ジェロニモ」 TURNER GALLERY (東京)  
「MOTコレクション第2部つくる、つかう、つかまえる-いくつかの彫刻から-」 東京都現代美術館 (東京)  
「AGAIN-ST第3回展 Dependent sculpture —彫刻を支えるものは何か—」 東京芸術大学絵画棟 1階アトスペース1 (東京)  
「引込線2013」 旧所沢市立第2学校給食センター(埼玉)  
「マンハッタンの太陽 光学芸術から熱学芸術への拡張：18世紀から21世紀の“太陽画”の系譜」 栃木県立美術館(栃木)  
「N+N展2013『アートいないいいないばあ-アートの思考法-』」 練馬区立美術館(東京)



- 「シリーズ・川崎の美術 響きあうアート」川崎市市民ミュージアム(神奈川)  
「AGAIN-ST第2回展 「肖像」-自問するメディアとしての彫刻」日本大学藝術学部江古田校舎 アートギャラリー、  
A&Dギャラリー、ChikaEcoda(東京)  
「Omnilogue : Your Voice is Mine」シンガポール国立大学美術館(シンガポール)  
「空似」現代HEIGHTS Gallery DEN(東京)
- 2012 「岡山芸術回廊」岡山カルチャーゾーン一帯(岡山)  
「第5回 柳瀬荘アート・教育プロジェクト『アートと対話』」柳瀬荘(埼玉)  
「ジェロニモ」ターナーギャラリー(東京)  
「視差をしくむ」FAL武蔵野美術大学2号館1階(東京)  
「開港都市にいがた 水と土の芸術祭 2012」新潟市(新潟)  
「第1回AGAIN-ST展」東京造形大学 CS ギャラリー(東京)  
「アウトレンジ 2012」文房堂ギャラリー(東京)  
「460 人展」名古屋市民ギャラリー矢田(愛知)  
「RYUGU IS OVER!!竜宮美術館は終わります」竜宮美術旅館(神奈川)
- 2011 「ART & PRODUCT“アートとプロダクトの不穏な関係”」AI KOWADA GALLERY(東京)  
「岡山芸術回廊」岡山後楽園(岡山)  
「再考現学/Re-Modernologio phase2:観察術と記譜法」国際芸術センター青森(青森)  
「柳瀬荘アート・教育プロジェクト」柳瀬荘(埼玉)  
「呼びとめられたものの光」名古屋ポストン美術館(愛知)  
「所沢ビエンナーレ美術展2011 -引込線-」所沢市生涯学習推進センター、旧所沢市立第2学校給食センター(埼玉)  
「横浜トリエンナーレ2011 OUR MAGIC HOUR 世界はどこまで知ることができるか？」横浜美術館、  
日本郵船海岸通倉庫(神奈川)  
「新しい立体造形：富井大裕＋照屋勇賢」旧ウォーク館(前橋美術館建設予定地)(群馬)  
「彫刻・林間学校 アースバウンド」メルシャン軽井沢美術館(長野)  
「富井大裕＋末永史尚 二人展」switch point(東京)  
「MOTアニュアル2011 Nearest Faraway | 世界の深さのはかり方」東京都現代美術館(東京)  
「A POSSIBLE DIMENSION」PANTALOON(大阪)
- 2010 「富永大尚＋末井史裕＋富田大彰＋森井浩裕＋末田史彰＋森永浩尚」switch point(東京)  
「近藤恵介・富井大裕 あっけない絵画、明快な彫刻」Gallery Countach Kiyosumi(東京)  
「柳瀬荘アート・教育プロジェクト」柳瀬荘(埼玉)  
「間戸/WIND-OW」MA2 Gallery(東京)  
「秋田県大館市アートプロジェクト『ゼロダテ／大館展 2010』」大館市 大町商店街(秋田)  
「気象と終身-寝違えの設置、麻痺による交通」アサヒ・アートスクエア(東京)
- 2009 「第1回所沢ビエンナーレ美術展 -引込線-」西武鉄道旧所沢車両工場(埼玉)  
「アテンプト2 矢櫃徳三・久家靖秀・富井大裕・ジャンボスズキ」カスヤの森現代美術館(神奈川)  
「Inside Outline 富井大裕＋奥村雄樹」KABEGIWA(東京)  
「変成態ーリアルな現代の物質性」Vol.2 富井大裕×中西信洋「揺れ動く物性」ギャラリーαM(東京)  
「リニューアル」武蔵野美術大学美術資料図書館(東京)  
「壁ぎわ」現代HEIGHTS Gallery Den(東京)
- 2008 「BROKEN」TIME & STYLE MIDTOWN(東京)  
「5×5」万国橋ギャラリー(横浜、神奈川)  
「アートプログラム青梅『空気遠近法・青梅-U39』」青梅織物工業協同組合施設(東京)  
「ニューバランス」gallery Archipelago(東京)  
「DRAWING」TIME & STYLE MIDTOWN(東京)
- 2007 「ニュー・ヴィジョン・サイタマ III 7つの眼×7つの作法」埼玉県立近代美術館(埼玉)  
「pre」switch point(東京)  
「壁ぎわ」KABEGIWA(東京)
- 2006 「基準の技術」KABEGIWA(東京)  
「色と形」KABEGIWA(東京)
- 2005 「12 DIVERS AT THE MOUNTAIN GATE」旧山口履物店(東京)  
「MATERIAL MIXTURE」node cube(東京)  
「芸術の山/第0合/発刊準備公開キャンプ/立体編その1」NADiff(東京)  
「cat's heaven...!」gallery Archipelago(東京)  
「美術の星座 2005 Constellation of Art」ギャラリーくまい(東京)  
「字界へー隘路のかたちー」長久手町文化の家(愛知)  
「深川HO-BOアート2」深川資料館通り商店街(東京)
- 2004 「conran show」OKADA STUDIO(愛知)  
「floating scale - 「スケール」を巡る旅-」学食2F(愛知)  
「space」U8 Projects(愛知)
- 2003 「Small Works Exhibition」ZaGallery有明(東京)  
「葉展」藍画廊(東京)  
「Jin Session 2003 Vol.4 “off topic”」ギャラリー一人(東京)



- 「PC2003」ZaGallery有明(東京)  
「アートと暮らす新世紀4 元気の素」ZaGallery有明(東京)  
2002 「PC展」ZaGallery有明(東京)  
「GALERIA RASEN session」ガレリアラセン(東京)  
2001 「minimum continuation //継続」exhibit LIVE(東京)  
「GALERIA RASEN 2001」ガレリアラセン(東京)  
2000 「美術の星座 Constellation of Art 1998-1999-2000」なるせ美術座(東京)  
「TRANSIT/経由・帯域」(第4回アート公募2000ガレリアラセン画廊企画賞展)ガレリアラセン(東京)  
「丹羽陽太郎×冨井大裕 机上の空論」ギャラリーマロニエ(京都)  
「GALERIA RASEN select 2000 Vol.2」ガレリアラセン(東京)  
1999 「木村裕×冨井大裕『存在の家-見知らぬ私のために-』」メタル・アート・ミュージアム-光の谷-(千葉)  
「第4回アート公募2000」新木場SOKOギャラリー(東京)  
「ほどけない神経の鍵穴」ギャラリー那由他(神奈川)  
「武蔵野美術大学大学院修了制作選抜作品展」武蔵野美術大学美術資料図書館展示室(東京)  
1998 「対話する器」ギャラリー那由他(神奈川)  
1997 「冨井大裕×丹羽陽太郎『Dramaturgie-すれ違う日常-』」キッド・アイラック・アート・ホール(東京)

#### [コミッションワーク]

- 2008 日吉の家(設計 田中裕之建築設計事務所)(神奈川)

#### [ワークショップ]

- 2015 「彫刻と絵画をめぐるワークショップ~4人の色/9回のコップ」国立新美術館(東京)  
2013 「彫刻と絵画をめぐるワークショップ」(近藤恵介との共同)川崎市市民ミュージアム(神奈川)  
2012 「中村正義から、つくる」(近藤恵介との共同)川崎市市民ミュージアム(神奈川)  
「新潟市美術館の作品を紙でつくって、積み上げよう!」新潟市美術館(新潟)  
「紙でたてもの園をつくろう」江戸東京たてもの園(東京)  
「3つのかんけい もの・おと・からだ」(齊藤紘良、東山佳永との共同)練馬区立美術館(東京)  
「TOKYO FRONTLINE 2012」3331 Arts Chiyoda, Tokyo, Japan  
2011 「ACACで自分の彫刻をみつける」国際芸術センター青森(青森)  
「巨大静物をつくる」名古屋ポストン美術館(愛知)  
「彫刻と絵画をめぐるワークショップ」(近藤恵介との共同)東京都現代美術館(東京)  
2010 「彫刻と絵画をめぐるワークショップ」(近藤恵介との共同)Gallery Countach Kiyosumi(東京)

#### [その他の活動]

- 2013 ELTTOB TEP ISSEY MIYAKE / GINZA ウィンドウ「透過と積層」(東京)  
2012 美術評論家連盟シンポジウム2012「彫刻の変容-日本の場合」東京国立近代美術館(東京)  
イベント「body work」blanClass(横浜、神奈川)  
2010 イベント「can work, hand work, other work」blanClass(横浜、神奈川)  
2009 作品展示「福永信フェア」ジュンク堂書店新宿店(東京)  
作品展示「福永信フェア」ジュンク堂書店池袋店(東京)  
2008 版画集「壁ぎわ」(制作 Itazu Litho-Grafik)

#### [パブリックコレクション]

東京国立近代美術館  
東京都現代美術館  
新潟市美術館  
練馬区立美術館  
高松市美術館



**【本展に関するお問合せ】** ぜひ貴社にて御紹介くださいますようお願い申し上げます。画像データの御依頼等は下記までご連絡下さい。

ユミコチバアソシエイツ 〒106-0032 東京都港区六本木 6-4-1 六本木ヒルズハリウッドビューティープラザ 3F

[Tel] 03-6276-6731 [e-mail] [info@ycassociates.co.jp](mailto:info@ycassociates.co.jp) [website] [www.ycassociates.co.jp](http://www.ycassociates.co.jp) 【営業時間】 12:00-19:00 【定休日】 日・月・祝日